ニュース＆トピックス
No.2024－131
（2025．1．17）

信金中央金庫 地域・中小企業研究所
研究員 森川 友理
０３－５２０２－７６７１
s1000790@FacetoFace.ne.jp

信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-19）

－ アルムナイ採用への取組み －

ポイント

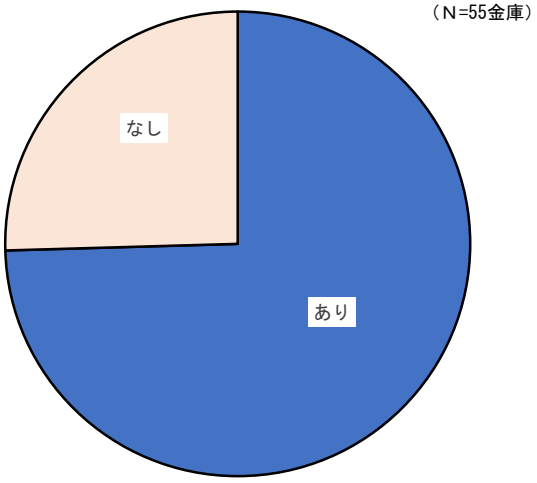
- アルムナイ採用の導入が急拡大しており、事前課題の結果をみると研修受講金庫の74.5%で実施していた。
- 最大のメリットは、自金庫を良く知っている人材を採用することで即戦力を確保できる点にある。
- アルムナイ採用で実績を出すには、中途退職者が再び自金庫で働きたいと思えるような職場づくりが不可欠であり、そのためにも①職員エンゲージメントの向上、②金庫役職員の意識改革、③庫内ルールの整備などに取り組む必要がある。

（注１）本稿は、当研究所主催「経営戦略プランニング研修（2024 年度）」の意見交換および個別信用金庫へのヒアリング等で得た情報をもとに作成している。
（注２）本稿は、ニュース＆トピックス（2023-105）「信用金庫の新しいビジネスモデル策定（37）－「アルムナイ採用」の実施動向 －」のアップデート版となる。

１．アルムナイ採用の取組み

信用金庫の常勤役職員数減少の深刻化に伴い、転職や家庭の事情などでいちど自金庫を中途退職した元職員を採用する「アルムナイ採用」の導入が急拡大している。当研究所が主催する「経営戦略プランニング研修」の事前課題で実施状況について確認したところ、研修受講金庫のうち74.5%の信用金庫でアルムナイ採用を実施しており、一般的な採用手法の１つとして業界に普及してきたと考えられる（図表１、２）。

（図表１）アルムナイ採用の実施割合



（図表２）事前課題の内容

質問事項	【中途採用の実施】 ①採用の方針等、②元職員の採用の有無
対象金庫	経営戦略プランニング研修（2024年度）受講金庫
回答期間	2024年6月3日～7月31日
回答金庫数	55金庫
そ の 他	②の質問をアルムナイ採用とした。
参　　考	詳しくは、金融調査情報（2024-10）「信用金庫の新しいビジネスモデル策定①-「経営戦略プランニング研修（2024年度）」の概要-」を参照

（備考）図表１から３まで信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

２．アルムナイ採用の狙い・目的

信用金庫がアルムナイ採用を強化する最大のメリットは、自金庫を良く知っている人材を採用することで即戦力を確保できる点にある。そのほか、採用コストの削減や内外への先進性のＰＲ、多様性を認める組織風土の醸成などが期待される。

３．取組時のポイント

アルムナイ採用で実績を出すには、中途退職者が再び自金庫で働きたいと思えるような職場づくりが不可欠であり、①職員エンゲージメントの向上、②金庫役職員の意識改革、③庫内ルールの整備などに取り組む必要がある。これまでの中途退職者の「本音」の退職理由とも向き合い、自金庫の魅力向上を実現する覚悟が求められるだろう。

４．研修受講金庫のコメント

当研究所が主催する「経営戦略プランニング研修」などの意見交換時に聴取した研修受講金庫の主なコメントは図表３のとおりである[1]。

（図表３）アルムナイ採用に関する主なコメント

- アルムナイ採用で戻ってきた職員は、「他社で働いてみたけど、やっぱり〇信金の方が働きやすい。」などと、日常業務のなかで若い職員に話してくれるので助かっている。
- 当金庫を中途退職した若手・中堅に周年記念イベントを案内したところ数人が参加してくれ、その中からアルムナイ採用に応募してきた人がいた。
- 元職員がアルムナイ採用で戻ってきてくれた。現在の職位は従前より低い状況だが、優秀な人材なので近いうちに元の職位に戻すと思われる。
- トップダウンでアルムナイ採用を導入した。金庫として戻ってきて欲しい元職員に案内をしており、数件の問い合わせがあった。現在、１人の採用が決まっている。
- アルムナイ採用を開始したところ、この３月末に辞めた職員が早くも戻ってきた。色々な意見があるが、即戦力になるため復帰を認めた。
- アルムナイ採用の想定ターゲットは女性職員である。結婚など家庭の事情で退職した職員が戻ってくるよう、案内を行っている。
- 当金庫はアルムナイ採用に消極的だと思う。辞め方が重要であり、本当に戻って欲しくなるような円満退職はあるのだろうか。戻ってくる理由も重要である。
- アルムナイ採用の制度はあるが実績はない。

（備考）過去レポートの再掲あり

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがいまして、投資・施策実施等についてはご自身の判断でお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

[1] 信用金庫のコメント等は研修受講者の個人的な意見・感想を含むものであり、受講金庫の正式なコメントではない。そのため事例の記載にあたっては信用金庫名が特定できないように修正してある（個別信用金庫名や詳細資料の提供依頼にはお応えしておりません）。